

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ世界国債インカムオープン〔毎月タイプ〕」は、このたび第190期の決算を行いました。当ファンドは主として「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」を通じて世界各国の高格付けの国債中心に投資し、安定した収益の確保を図るとともに、中長期的に信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額 (当作成期末)	6,006円
純資産総額 (当作成期末)	2,635百万円
騰落率 (当作成期)	0.9%
分配金合計 (当作成期)	90円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書(全体版)をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書

パインブリッジ 世界国債インカム オープン 〔毎月タイプ〕

<愛称：スーパーシート>

追加型投信／海外／債券

第32作成期

(2019年5月28日～2019年11月25日)

第185期 (決算日：2019年 6月25日)

第186期 (決算日：2019年 7月25日)

第187期 (決算日：2019年 8月26日)

第188期 (決算日：2019年 9月25日)

第189期 (決算日：2019年10月25日)

第190期 (決算日：2019年11月25日)



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

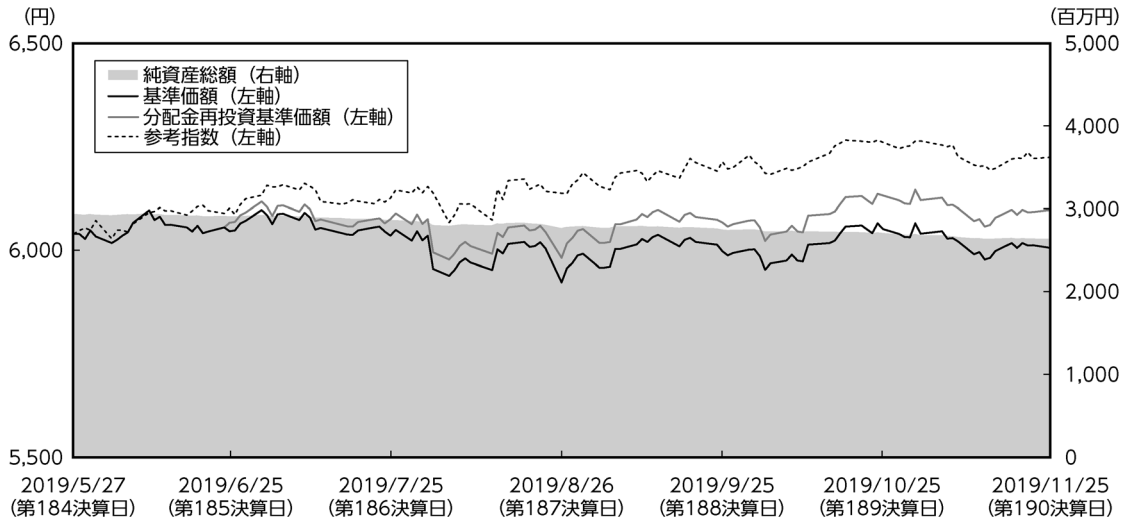
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00 (土、日、祝休日を除く))

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年5月28日～2019年11月25日)

基準価額等の推移



第185期首 : 6,040円

第190期末 : 6,006円

(作成対象期間中の既払分配金 : 90円)

騰落率 : 0.9% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※参考指数はFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<パインブリッジ世界国債インカムオープン「毎月タイプ」>

投資対象であるパインブリッジ先進国債券マザーファンドの基準価額が上昇したことが、当ファンドの基準価額の上昇要因となりました。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

為替市場では、一部を除き構成通貨に対して円が前作成期末比で上昇したものの、債券市場では、先進国金利は前作成期末比で低下し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第185期～第190期 (2019.5.28～2019.11.25)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	29円	0.481%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,030円です。
(投信会社)	(14)	(0.235)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(13)	(0.219)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	30円	0.490%	

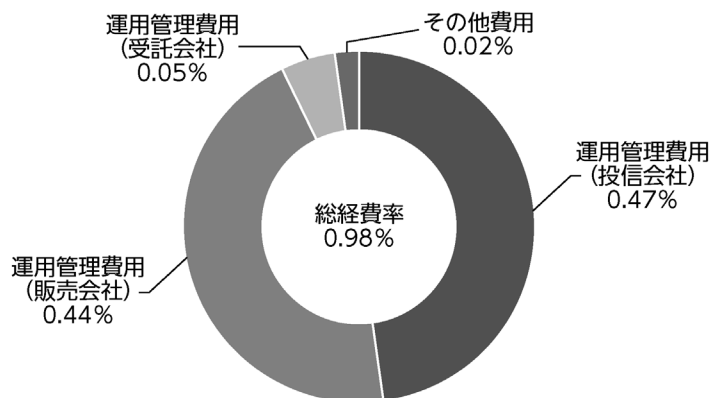
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



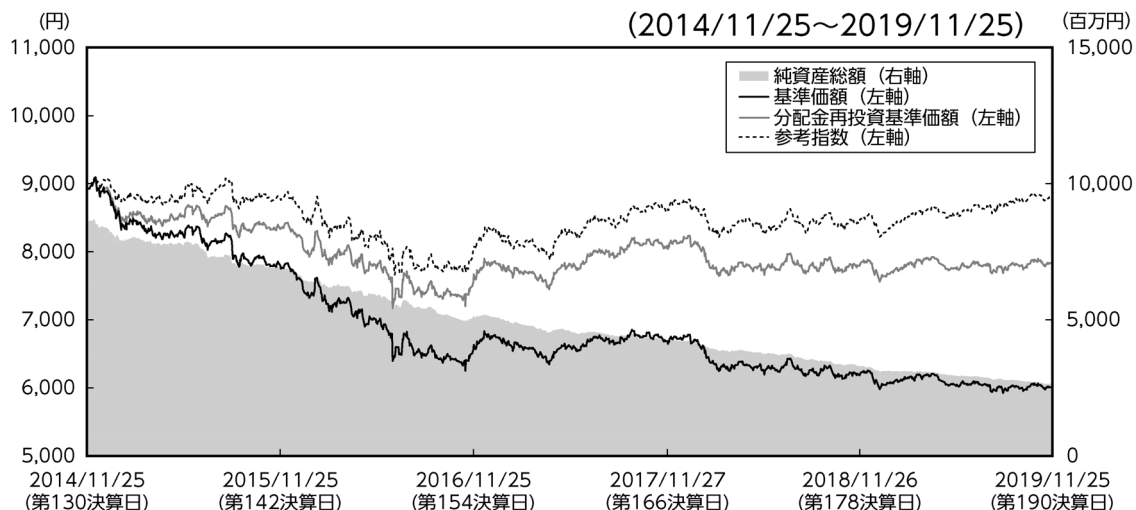
※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2014年11月25日の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。2014年11月25日の基準価額をもとに指数化しています。

	2014/11/25 決算日	2015/11/25 決算日	2016/11/25 決算日	2017/11/27 決算日	2018/11/26 決算日	2019/11/25 決算日
基準価額 (円)	8,929	7,752	6,633	6,687	6,184	6,006
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	500	300	260	210
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△6.6	△8.1	5.5	△3.7	0.5
参考指数の騰落率 (%)	—	△1.9	△7.8	7.0	△2.6	4.4
純資産総額 (百万円)	8,623	6,860	5,134	4,228	3,286	2,635

※参考指数はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

参考指数のFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCが算出および公表する世界主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

投資環境について

作成期首より保護主義の台頭に対する懸念を背景に金利は低下基調で推移しました。その後は横ばい圏内の推移が続きましたが、8月に入り軟調な経済指標、保護主義の台頭に対する懸念、中国人民元をめぐる動向、香港デモ激化、ハードブレグジットに対する懸念やハト派的なECB（欧州中央銀行）高官発言、ハト派的なBOE（イングランド銀行）金融政策委員会によりさらに低下しました。作成期末にかけてはやや持ち直しましたが前作成期末比では金利は低下しました。米国ドル円及びユーロ円は作成期首より保護主義の台頭に対する懸念によるリスクオフセンチメントの台頭で下落しました。その後は横ばい圏内の推移が続きましたが、8月に入り保護主義の台頭に対する懸念や中国人民元をめぐる動向を背景にさらに下落しました。作成期末にかけてはやや持ち直しましたが前作成期末比では下落しました。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ世界国債インカムオープン「毎月タイプ」>

主としてパインブリッジ先進国債券マザーファンドに投資し、安定的なインカム収入の確保を目指しました。

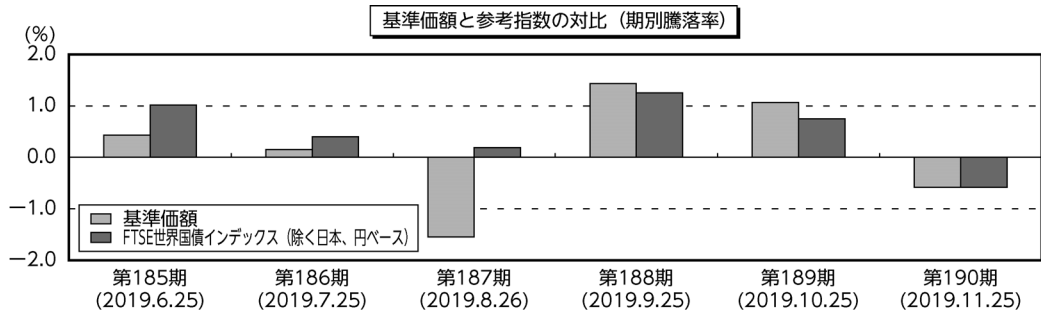
<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

当ファンドは、基本通貨配分（環太平洋圏；米国ドル25%、オーストラリア・ドル15%、カナダ・ドル10%、欧州圏；ユーロ30%、英国ポンド10%、スウェーデン・クローナ10%）に沿ったアロケーションを維持しました。また、ポートフォリオの残存年限別構成においては、直接利回り、最終利回りの両面からバランスのとれたウェイト配分としています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数に比較して、米国ドルやユーロへの投資比率が少なかったことが主にインデックスとの差異要因となりました。



分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、期中に受取りました配当等収益を中心に、第185期～第187期それぞれ20円、第188期～第190期それぞれ10円（元本1万口あたり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり、税引前）

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2019年5月28日～ 2019年6月25日	2019年6月26日～ 2019年7月25日	2019年7月26日～ 2019年8月26日	2019年8月27日～ 2019年9月25日	2019年 9月26日～ 2019年10月25日	2019年10月26日～ 2019年11月25日
当期分配金	20	20	20	10	10	10
（対基準価額比率）	0.330	0.330	0.337	0.166	0.165	0.166
当期の収益	15	13	14	10	10	10
当期の収益以外	5	6	6	—	—	—
翌期繰越分配対象額	15	9	4	11	18	22

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

米国長期金利は、主要国における緩やかな景気減速、グローバルな金融緩和、保護主義の台頭を巡る動き等を背景に当面レンジ内での推移が継続すると考えています。欧州長期金利は当期中核国に関しては大きく上昇する可能性は限られていると考えています。

運用方針

<パインブリッジ世界国債インカムオープン「毎月タイプ」>

主としてパインブリッジ先進国債券マザーファンドを高位に組入れ、安定的なインカム収入の確保を目指します。

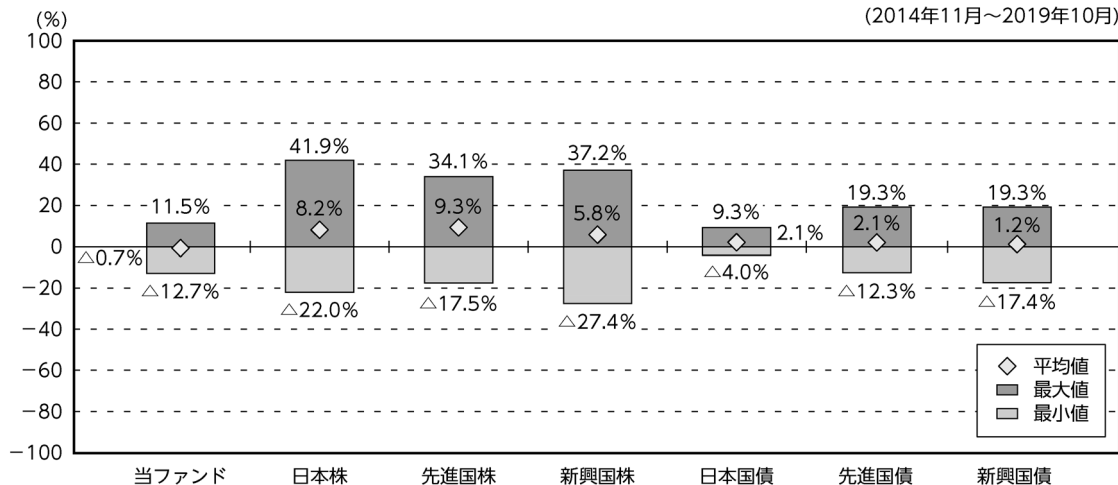
<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

通貨別配分については、基本通貨配分に沿ったアロケーションを継続し、為替変動リスクを軽減する方針です。残存年限別配分についても、バランスのとれた構成比を維持するよう努めていきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則として無期限です。	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」を通じて世界各国の高格付けの国債中心に投資し、安定した収益の確保を図るとともに、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・環太平洋圏（米国ドル、カナダ・ドル、オーストラリア・ドル等）への組入比率50%、欧州圏（ユーロ、英国ポンド、北欧通貨等）への組入比率50%を基本通貨配分とし、各国の金利水準および為替水準等を勘案したうえで、ポートフォリオを構築します。 ・組入対象となる世界主要国の国債は、A-またはA3格相当以上の格付けを取得している銘柄に限定します。 	
主要投資対象	パインブリッジ 世界国債 インカムオープン 「毎月タイプ」	「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」を主要投資対象とします。
	パインブリッジ 先進国債券 マザーファンド	世界各国の国債を主要投資対象とします。
運用方法	パインブリッジ 世界国債 インカムオープン 「毎月タイプ」	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の行使により取得したものに限り、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ 先進国債券 マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の行使により取得したもののへの投資に限るものとします。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月1回（原則として25日）決算を行い、配当等収益および売買益を中心に、基準価額の水準、市況動向、運用状況等を勘案して分配を行います。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合もあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年11月～2019年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

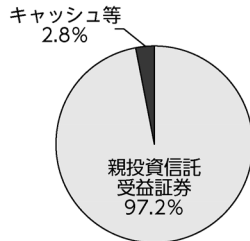
当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月25日現在)

●組入銘柄 (組入銘柄数：1銘柄)

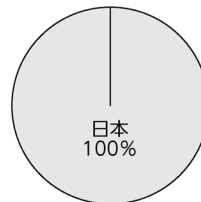
銘柄名	投資比率(%)
パインブリッジ先進国債券マザーファンド	97.2

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

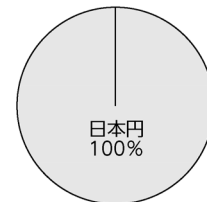
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2019年6月25日	2019年7月25日	2019年8月26日	2019年9月25日	2019年10月25日	2019年11月25日
純資産総額	2,909,303,807円	2,860,304,731円	2,766,210,398円	2,748,591,415円	2,707,127,520円	2,635,194,143円
受益権総口数	4,812,135,424口	4,739,833,823口	4,671,368,206口	4,583,193,163口	4,473,888,516口	4,387,520,080口
1万口当たり基準価額	6,046円	6,035円	5,922円	5,997円	6,051円	6,006円

※当作成期間（第185期～第190期）中における追加設定元本額は9,832,734円、同解約元本額は487,432,310円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ先進国債券マザーファンドの組入資産の内容（2019年11月25日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
その他費用 (保管費用)	1円 (1)
(その他)	(0)
合計	1円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものであります。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

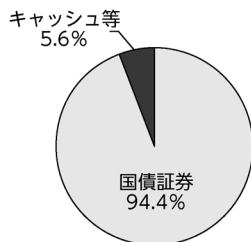
(組入銘柄数：10銘柄)

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	17.6
BUNDESREPUB.DEUTSCHLAND	国債証券	ドイツ	ユーロ	14.9
FRANCE GOVERNMENT	国債証券	フランス	ユーロ	13.6
UK TREASURY	国債証券	イギリス	英国ポンド	9.3
SWEDISH GOVERNMENT	国債証券	スウェーデン	スウェーデン・クローナ	9.3
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	カナダ	カナダ・ドル	9.2
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	8.0
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	6.2
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	4.2
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	2.1

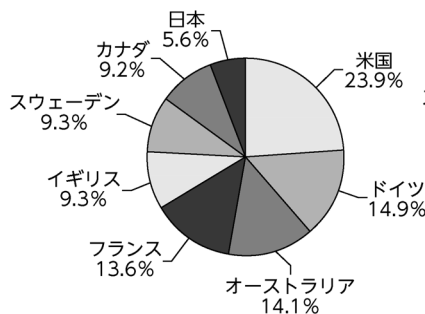
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

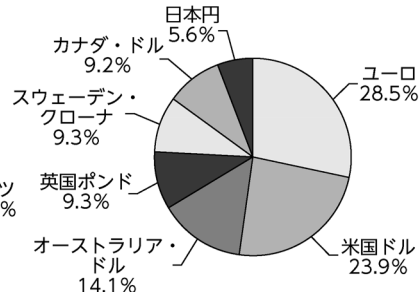
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。